

# フークトープ通信 60

福飯電車は期待を乗せてー開通当日の「福島民報」紙上から

荒川 瑛 楠 (福島市)

「いい電」の愛称で親しまれている福島交通飯坂電車。一九二四(大正一三)年四月一三日、その前身にあたる福島飯坂電気軌道が、福島(現・曾根田駅)ー飯坂駅(現・花水坂駅)間で運行を開始した。今年が開業一〇〇周年にあたり、昭和から平成にかけて使用されていた車両のデザインをあしらった「レトロデザイン列車」が走るなど、記念事業がすでに大きな盛り上がりを見せている。



開通当日の見出し(福島民報社提供)

いい電は開通当時「福飯電車」と呼ばれていた。開通当日の「福島民報」朝刊では、「待ちに待たれた福飯電車今日開通す」という見出しで、一面で大きく取り上げられている。読者の目を引くための工夫を差し引いても、「待ちに待たれた」という表現からは少なから

ぬ期待が窺える。

見出しに続き、まず開通の意義について語られる。飯坂町・湯野村が「東北一のラジウム温泉地」「東洋一のラジウム泉」、福島市が「東北の咽喉として名ある」とそれぞれ表現され、福飯電車の開通は「天下の為めに大なる功績と云はねばならぬ」という。先の表現を踏まえると、ここでの「天下」は、日本全国はたまた世界ともとらえられよう。

続く掲載内容は、大きく五つに分けられる。一つ目は、「仙境の名所」と題した、十綱橋や医王寺などの名所案内。二つ目は「銀行会社その他の機関」と題した、飯坂町と、湯野村などの当時伊達郡に属した沿線地域の機関の紹介。ここでは信達製糸株式会社と飯坂倉庫という養蚕に関わる会社も紹介されている。三つ目は、「郷土の誇り」と題した、佐藤継信・忠信兄弟と地元の名望家・堀切家の概要。四つ目は、飯坂町と湯野村に位置する数々の温泉旅館の紹介。そして五つ目が、「自治行政は何れも完全して居る」と題した、飯坂町と湯野村の自治行政の紹介である。さながら、沿線地域をPRする広報紙のような構成からなっている。

こうした紙面構成から、福島民報社が沿線地域を観光地かつ住みよい地域として描くとともに、福飯電車を同地域の産業の活性化に資するものとして魅力的に宣伝しているさまが読み取れる。

「福島民報」紙上において福飯電車は、交通手段としてだけでなく、飯坂町・湯野村と福島市、日本全国ひいては世界へと地理的な広がりをもたらす存在として描かれているといえよう。開通当時、飯坂電車がこれだけの熱量を持って取り上げられたことを想起したい。

### フークトープ紀行 60

#### 医王寺 (福島市)

五月に福島市で檜枝岐歌舞伎の公演を観ました。演目は「義経千本桜」。その中の重要な登場人物が「狐」と佐藤忠信。「源平盛衰記」で義経四天王と称される四人の一人で、佐藤継信・忠信兄弟の弟です。室町時代初期に書かれた「義経記」によれば、忠信は賜った義経の帷子を身に纏って囀となり、奮戦空しく自刃したとされています。そのドラマチックな生き様は、歌舞伎や浄瑠璃など様々な分野で題材になっています。

さて、福島市飯坂町の瑠璃光山・医王寺には、県指定文化財の荘司佐藤基治・乙和・継信・忠信墓碑とされる石碑があります。医王寺は八二六年、弘法大師御作の薬師如来像を勧請し草庵を建てたことに始まると言い伝えられ、これらの石塔を削って飲むと熱病が治るという信仰もありました。松尾芭蕉がこの地を訪れ、佐藤一族の生涯に感涙して詠んだ「笈も太刀もさつきにかざれ紙のぼり」の句碑も見所です。今頃は、佐藤兄弟の母の無念を物語る「乙和の椿」の艶やかな実や葉の濃い陰影が淋しさを醸します。芭蕉の句碑に刻まれる「笈」ですが、医王寺瑠璃光殿の県指定重要文化財「弁慶の笈」も見事なものです。



山門をくぐり参道を歩めば、落ち着いた悠久の佇まいと、周りの豊かな自然が相まって、四季折々の趣深い景色が広がります。これからの季節は雄大な松の木陰に心身の涼を求めに行くのも素敵です

(あべ和かこ・福島市)

#### 短信

☆須賀川出身の漫画家でイラストレーターの有我すずなさんがなんと「フークトープ通信」のことを漫画に描きました。ネット上で「駒場剣友会 こまけんだより」で検索。今年の6月号をダウンロード。16〜17ページをご覧ください。フークトープの人の輪がどんどん広がって、うれしいことですね。

(菅野俊之・福島市)

☆この度、拙著「戦争が遺した五つの物語」が福島民報出版文化賞正賞を受賞しました。過去二作の奨励賞と合わせ、応募作すべてが入賞を果たせました。これからも戦争と移民をテーマに、調査、記録を続けていきたいと考えています。

(紺野滋・桑折町)

☆昨年開催された奥会津7町村の連携企画展「奥会津の縄文」展の図録が、今年の福島民報出版文化賞特別賞を受賞しました。縄文という時代：奥会津は決して「奥」ではない。近隣あるいは遠隔の地域と交流するクロスロードのような場所：それを浮き彫りにできたように思います。

多くの関係者に感謝いたします。

(長島雄一・会津若松市)

☆さる七月二十四日、柏書房より『アーカイブズ学用語辞典』が刊行されました。「粘土板から羊皮紙、デジタルデータまで」人間の営みの検証を可能とする諸学の基盤たる学問の基礎情報を完全網羅した、初の本格的辞典！」(柏書房HPより)です。私も少しですが執筆しましたので、ぜひご覧ください。

(山田英明・福島市)

#### 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。短信欄でもお知らせいただきましたとおり、このたび弊社同人が福島民報出版文化賞を受賞しました。おめでとうございます。

皆様が各方面で活躍されているお姿を見ると、弊紙が何をしようというわけでもないのに、我が事のように嬉しく、また誇らしく思います。ますますの発展をお祈りすることにも、さらなる吉報が届くことを楽しみにしております。

編集・発行/フークトープ通信社

福島市松木町一三、一六

シユターステイエ二〇二号室

山田英明 方

E-mail: fukutov@yahoo.co.jp